

LGWAN 対応自治体向けビジネスチャット「LGTalk」が「Votiro Disarmer」を採用

インターネットから LGWAN へのファイル送信をシームレスにした無害化ソリューションとは



スで取締役を務める杉谷良氏は、そこに着目して開発をスタートしたという。

「当社は自治体から相談を受けて開発を始める例が多いのですが、LGTalk は我々で考えて作ったものになります。チャットツールは、今や民間企業では、なくてはならないものになっています。しかし自治体ではセキュリティの観点から、なかなかチャットツールを活用するのが難しいというのが現状です。電話は相手の都合によってはなかなか連絡が取れず、メールは高頻度のやりとりには使いづらいというデメリットがあります。そこで、LGWANに対応したメッセージングツールがあれば、気軽に連絡が取れるためコミュニケーションが活性化し、業務を効率化できると考えたのです」(シフトプラス 杉谷氏)

こうして 2019 年に満を持してリリースしたのが、自治体向けのコミュニケーションツール「LGTalk」だ。2023 年 7 月現在、政令指定都市をはじめ 350 以上の団体（自治体・組織）が採用している。LGTalk は、LGWAN とインターネットの両方に対応しており、利用者は一般的なチャットツールと同じように会話することができる。ファイルを受信する際はワンアクションでファイルが無害化されるため、ストレスなくかつ安全に使用できるのだ。また情報伝達の履歴を残せるよう、誰が読んだかがわかる既読機能も搭載するなど、自治体で使用することを考慮したチャットツールとなっている。

数多くの自治体向けシステムを手がけるシフトプラス

シフトプラスは、2006 年に設立したシステム開発会社であり、ふるさと納税に関するシステム提供・業務委託・コンサルティングを行っている。主なサービスとして、ふるさと納税管理システム「レジホーム」や総合行政プラットフォーム「レジスタ」などがあり、さまざまなサービスを 450 を超える自治体へ提供し、高い評価を得ている。

同社の高い技術力は、LGWAN（総合行政ネットワーク：Local Government Wide Area Network）への対応に表れている。なぜなら LGWAN は地方公共団体間や地方公共団体と政府機関間の通信を行うための、インターネットから分離された行政専用ネットワークであり、個人情報をはじめとする様々な情報資産を守るために高度なセキュリティの維持が求められるからだ。

ファイル無害化の重要性

そもそも LGWAN において無害化が求められるようになった背景には、2015 年に起こった『日本年金機構における不正アクセスによる情報流出事案』がある。このようなセキュリティインシデントの再発を防止するために、総務省は 2016 年に「自治体情報システム強靱性向上モデル」を策定。ネットワークを「マイナンバー利用事務系ネットワーク」「LGWAN 接続系ネットワーク」「インターネット接続系ネットワーク」の三層に分離すること、そして「LGWAN 接続系ネットワーク」と「インターネット接続系ネットワーク」間の通信はウイルス感染のない無害化通信を図ることを各自治体に要請した。世の中がデジタル化していくなかで、分離されたネットワーク間でのファイル共有ができなくなると、自治体職員の業務が回らなくなってしまうという課題もあり、インターネット側から LGWAN にデータを持ち込むためには、このファイルの“無害化”が重要な役割を果たす。

LGWAN に対応したコミュニケーションツール「LGTalk」

こうしたセキュリティ上の理由から、自治体のコミュニケーションツールは、現在においても内線電話や E メールが中心だった。シフトプラ

LGWAN へのファイル送信を目指しファイル無害化を導入

現在は LGWAN でも利用できる LGTalk だが、開発当初は無害化に対応していなかった。しかし LGTalk の事業拡大とさらなる利便性向上のため、シフトプラスはファイル無害化の導入を検討。最終的に選定したのが、「Votiro Disarmer」だった。「Votiro Disarmer」はイスラエルの Votiro 社が開発した無害化ソリューションで、アズジェントがディストリビューターとして日本国内で販売を展開している。

Votiro Disarmer は CDR（Content Disarm and Reconstruction）とよばれる手法によって無害化を行う。Microsoft や Adobe といった主要なファイル形式の開発元と契約し、ファイル構造に関する情報を取得。すべてのファイルが悪意のあるものと想定し、ファイルを一度バラバラに分解し、有害なコードが隠れうる箇所を潰したのち、再びファイルを再構築する。必要な部分はそのままに有害なコードだけが無害化されるわけだ。CDR を行うことでアンチウイルスのような検知は不要となり、未知のウイルスに対しても効果を発揮できる。



LGWAN 対応自治体向けビジネスチャット「LGTalk」が「Votiro Disarmer」を採用

インターネットから LGWAN へのファイル送信をシームレスにした無害化ソリューションとは

シフトプラスに「Votiro Disarmer」を提案、納品した スワットブレインズソリューション営業部 部長 セキュリティコンサルタントの正木義和氏は、当時を振り返ってこのように話した。

「この CDR (Content Disarm and Reconstruction) によってファイルが無害化できるソリューションは、Votiro Disarmer のほかにも存在します。しかし、Votiro Disarmer は、CDR の最高次元である Positive Selection Technology の実装によりファイルから安全な要素のみを抽出し、再構成する " ホワイトリスト型 " の技術を用いています。これは他社の無害化製品と大きく異なる点であり、この技術を用いているからこそ Votiro は安心して使用できるのです。

シフトプラスさんからは、技術的な観点から『なぜセキュアなのか』について繰り返し聞かれました。無害化手法について説明すると同時に、もう一つの優位性でもあるデータの再帰性についてもご紹介し、ご納得いただき、導入を決定していただきました。」

「これまでで一番のアップデート」と自治体も評価



シフトプラス株式会社 取締役 杉谷良氏

こうして 2023 年 3 月 6 日、LGTalk に Votiro Disarmer を利用したファイル無害化機能が追加された。インターネットと LGWAN を跨ぐファイルの送受信が可能となり、チャット上でシームレスに文書などのファイルのやり取りが行えるようになった。ユーザーからは「これまでで一番の神アップデート」と言われるほど高く評価されているという。

「LGWAN の外からファイルを送れる、LGWAN の中で受け取れるという点においては、これまでも無害化ソフトを別途使用すれば可能でした。ですが、それを普段使っているチャット画面でできるというインパクトは大きかったようで、大変好評です。定量的なデータはいただいていませんが、時間効率的にも大幅な短縮になっているはずです」と、シフトプラスの杉谷氏は自治体の反応を語る。

一方、正木氏は、「LGTalk は LGWAN から使えるチャットツールであり、インターネットとも接続して会話が可能です。これは本当に画期的なことであり、最初にシフトプラスさんからこの仕組みをお聞きしたとき

は、本当に実現できるのか、と驚きました。安全で再帰性の高いファイルの無害化を実現し、自治体職員の方へ利便性を提供したい、というお言葉に大変感動したことを今でも覚えています。今回、Votiro Disarmer を活用することで見事 LGTalk のアップデートを実現できたことを大変うれしく思います」と、喜びを語ってくれた。



スワットブレインズ株式会社
ソリューション営業部 部長
セキュリティコンサルタント
正木義和氏

また LGTalk は、無害化以外にもさまざまな機能や利便性向上のアップデートを提供している。

2023 年 7 月 12 日には、LGWAN

専用 ChatGPT 活用システム「自治体 AI zevo」との連携機能も追加された。今後はスマートフォン用アプリのネイティブ化による動作速度向上を予定しているという。

LGWAN 上でのチャットコミュニケーションを実現したうえで、Votiro Disarmer による無害化機能の追加によって、セキュアなファイル送受信も可能とした LGTalk。ネットワークの垣根を意識させないシームレスなやり取りは、DX を推し進める自治体において業務効率化の一助となりそうだ。

Votiro Disarmer のさらなる可能性

シフトプラスの Votiro Disarmer に対する信頼は厚く、すでに LGTalk 以外のシステムでも Votiro Disarmer を活用しているという。「新たにリリースした、『otetsuzuki』という LGWAN に対応した汎用フォーム作成システムにも、Votiro Disarmer を採用しました。これは、管理画面上でパーツを組み合わせていだけで、さまざまな予約・申請サイトを作成・公開し、多種多様なオンライン予約を行えるようにするサービスです。市民の皆さまからの電話予約受付や、来庁対応の手間を削減することができます」(シフトプラス 杉谷氏)

Votiro Disarmer は、自治体のみならず、金融業界や医療業界など、個人情報などを多く扱う民間企業においても、マルウェア対策としてその効果を発揮する。高度なセキュリティを担保しながら、あらゆるファイルを再帰的に無害化できる Votiro Disarmer の活用は、業界問わず有効的なソリューションといえるのではないだろうか。

導入事例

シフトプラス株式会社

<https://www.shiftplus.co.jp/>
大阪府大阪市西区江戸堀 2 丁目 1-1
江戸堀センタービル 8 階

【事業内容】

ふるさと納税や自治体業務に関するシステム提供・業務委託・コンサルティング

問い合わせ先



株式会社アズジェント

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4
TEL : 03-6853-7402 E-mail:info@asgent.co.jp
<https://www.asgent.co.jp/>

※記載内容は 2023 年 8 月現在のものです。 ※文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。